

(様式第4号)

上田市上下水道審議会 会議概要

1 審議会名	令和2年度(第7期)第1回上田市上下水道審議会
2 日時	令和2年7月31日 午前10時から午前12時まで
3 会場	真田地域自治センター 3階 講堂
4 出席者	荒川委員、池田委員、内川委員、大口委員、梶村委員、金井(和)委員、 金井(由)委員、工藤委員、甲田委員、清水委員、高橋委員、長尾委員、原田委員、 布施委員、堀内(育)委員、堀内(吉)委員、吉池委員、渡辺委員
5 市側出席者	土屋上田市長、柏木上下水道局長、田中経営管理課長、山口サービス課長、 小井土上水道課長、嶋尾下水道課長、越浄水管理センター所長、 芳池丸子・武石上下水道課長 (以下経営管理課)黒岩課長補佐兼経理担当係長、堀内経理担当係長、 青井課長補佐兼庶務係長、庶務係池内主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年 月 日

協議事項等

1 開会
2 委嘱状交付
・ あらかじめ各委員の席に配布
3 市長挨拶
・ 私たちの日常生活の中で、新型コロナウイルス感染症が大きな影響を与えている。また、この7月に入って記録的な豪雨が発生し、長野県を含めて日本各地に大きな被害をもたらした。
・ このような生活を脅かす危機に直面する時、普段あって当たり前となっている上下水道が、一日たりとも欠くことのできない重要なライフラインであることを改めて痛感する。
・ 現在、上下水道事業は、給水人口の減少、節水型社会への移行などにより、水需要は減少傾向にある一方で、老朽化した施設の更新・修繕のための投資額の増加が見込まれている。さらに、大規模災害に備えて、施設の耐震化を進める必要があることから、経営を取り巻く環境は厳しく、一層の企業努力が求められている。
・ 上下水道局では、第6期の審議会において御審議いただき、平成30年度に中期的な事業運営の方針を示した「上田市水道ビジョン」と「下水道ビジョン」を策定した。さらに、令和元年度にこの両ビジョンを反映させて、経営の基本計画である「経営戦略」を改定した。現在、この両ビジョンと改定された「経営戦略」を基に、事業を進めている。
・ 今年度は、平成29年度からの上下水道料金算定期間の最終年度に当たり、令和3年度以降の料金について、御審議いただく重要な年度となる。
・ 審議会委員の皆様には、この審議会を通じ、上田市の上下水道事業に対する御理解を深めていただくとともに、学識経験者としての立場とサービスの受益者としての両方の視点から、事業の経営について総合的に御審議をお願いいたします。
4 審議会委員自己紹介
5 上下水道局出席者自己紹介
6 正副会長選出
・ 委員より、事務局に一任したらどうかと発言
・ 事務局から、会長・副会長の選任案について提起
会長に高橋委員を、副会長に渡辺委員とする案を提起

- ・ 委員一同承認

7 正副会長あいさつ

- ・ 会長 高橋委員、副会長 渡辺委員

(市長退席、休憩)

8 議事

(1) 上下水道審議会について

○事務局より資料1、2に基づき上田市上下水道審議会条例及び令和2年度の審議会開催予定について説明

- ・ 委員からの意見・質疑応答は以下のとおり

(委員) 第2回審議会を9月18日(金)に開催予定としていたが、午後に自治連の会合があり時間は何時になるか。

(事務局) 午前中に開催し、自治連の会合に支障がないようにする。

(2) 上下水道局の組織について

○事務局より資料3に基づき上田市上下水道局組織について説明

- ・ 委員からの意見・質問なし

(3) 上水道事業の概要について

○事務局より資料4、4-1に基づき水道事業の概要について及び上田市水道ビジョンについて説明

- ・ 委員からの意見・質疑応答は以下のとおり

(委員) 東組配水池の老朽化が進んでおり、今後どのような計画で施設更新を行っていくのか。

(事務局) 現在ボーリングによる地質調査を実施しており、耐震診断を行っている。菅平地域は今年度中に耐震診断を終える予定である。施設の耐震性が認められれば引き続き使用していくが、耐震性が認められなければ耐震補強工事を実施する。様々な施設の耐震診断を実施しており、それに基づいて優先順位を付けて行っていく。東組配水池の耐震補強工事を優先的に実施するとはお答えできない。

(委員) 配水池の位置を上にするなどの移設はできないか。

(事務局) 耐震性が認められない場合は、配水池の位置も含めて移設を選択肢に加えて今後検討していく。

(委員) 有収率とは何か。

(事務局) 年間配水量とは配水池から流れた水の量ことで、年間有収水量とは各家庭や工場に流れた水の量のことである。年間有収水量/年間配水量=有収率となる。年間配水量-年間有収水量=漏水量のことである。

(委員) 近年の水質事故の状況を教えてください。

(事務局) 水質調査を実施しており、水道法にある濁度などのチェック項目は全てクリアしており安全性に問題はない。昨年10月の台風以降は千曲川からの原水に初めてクリプトスポリジウムが検出されるようになったが、浄化された水からはクリプトスポリジウムは検出されていない。

(委員) クリプトスポリジウムの検査は濁度と硬化度で検査しているのか。また上田市が行っているのか。

(事務局) クリプトスポリジウムは浄水濁度0.1以下で除去できるとされ、浄化された水は浄水濁度0.1以下をクリアしている。検査は、外部の検査機関で行っている。

(委員) 人口減少による経営環境の悪化が課題とされているが、料金の引き上げによって解決すると安易に言ってほしくない。また課題が毎回同じなので、画期的な改善策を行ってほしい。

(事務局) 安易に料金の引き上げに頼るのではなく、経営努力をしながら経営環境の悪化を防いでいく。また

今期の審議会にて4年に1度の料金の検討についても審議していただきたい。

(4) 下水道事業の概要について

○事務局より資料5、5-1に基づき下水道事業の概要について及び上田市下水道ビジョンについて説明

・委員からの意見・質問はなし

(5) 上田市上下水道事業計画経営戦略（改訂版）について

○事務局より資料6に基づき上田市上下水道事業経営戦略（改訂版）について説明

・委員からの意見・質問はなし

(6) 上下水道料金徴収等業務包括民間委託について

○事務局より資料7に基づき上下水道料金徴収等業務包括民間委託について説明

・委員からの意見・質問はなし

9 その他

・委員からの意見・質疑応答は以下のとおり

(委員) 次回以降資料の事前配布をお願いしたい。

(事務局) 今回は第1回目ということで事前配布をしなかったが、次回以降は事前配布をして、委員の皆さまには事前に目を通していただきたい。

(委員) マンホールカードとはどういうものか。

(事務局) クレジットカードサイズのようなものに、デザインマンホールを印刷して下水道のPRに役立てるものです。まだ上田市では実施しておらず、これから検討を進めていきます。

(委員) これからの審議会の中で施設見学を行ってほしい。

(事務局) 日程を調整して、審議会の中で施設見学を行ってほしい。また、先ほどのデザインマンホールにつきましては3階のベランダに飾ってありますので、よろしかったら会議終了後ご覧ください。

(局長) 本日は第1回上下水道審議会に、委員の皆さまにおかれましては、出席していただきありがとうございました。長時間、内容はこちらからの一方的な説明を聞いていただき、だいぶお疲れになられたと思う。委員の皆さまには、これから2年間上下水道事業について審議していただくが、その中でもとりわけ忙しいのが、4年に一度審議することとなっている上下水道料金の検討についてである。資料にもあるように、次回から短い期間で何回も審議していただくことになるが、御協力をお願いしたい。私ども公営企業は健全な経営を行うことを大前提として、今後上下水道料金について審議していただきたい。これから2年間大変お世話になりますが、よろしく申し上げます。

10 閉会

以上